

令和 6 年度 第 2 回 磐田市遠江国分寺跡整備委員会 議事要録

- 1 開催日時 令和 7 年 1 月 20 日(月) 14:45～16:15
- 2 開催場所 磐田市役所 6 階 第 3・第 4 委員会会議室
- 3 出席者
 - (1) 整備委員：
上原真人（委員長）、平野吾郎（副委員長）、石上英一（オンライン）、
中島義晴、鈴木智大、鳥居節夫、鈴木正人、澤元教哲、小杉達、小杉泰久、兼田清
 - (2) 静岡県文化財課：立木 菖
 - (3) 磐田市教育委員会：教育長 山本敏治
 - (4) 事務局：磐田市教育委員会文化財課 神谷、室内、竹内、大村、鈴木
 - (5) 磐田市 都市整備課：堀尾
 - (6) 実施設計受託業者：株式会社フジヤマ、建築設計事務所アンプ

次第

1. 開会
2. 現地視察
3. 教育長あいさつ
4. 正副委員長あいさつ
5. 静岡県文化財課あいさつ
6. 議事

【報告事項】

○令和 6 年度遠江国分寺跡整備事業について

事務局

- ・整備工事：塔と回廊の基壇整備工事を進めている。工事は 2 月中に完了する見込みである。
- ・指定地公有地化：回廊東側に位置する指定地の公有化を進めている。既存の住宅は間もなく解体され、更地の状態で取得する。
- ・実施設計：四阿、燈籠、サインの実施設計を進めている。
- ・愛護啓発：R6. 11. 30 に塔の整備工事見学会を開催した。70 人の参加者があり、埴にメッセージを記入するイベントも開催した。
- ・事業計画：R7 年度は東側回廊と中門の整備工事を行う。また、燈籠の整備には 3 か年を要する見込みであり、最短で R8 年度に着手する計画。サインは単年度ですべてを整備することが困難であるため、他の整備工事の進捗を踏まえ、複数年度に分けて整備を進める。

委員 承知した。

【審議事項】

（１）四阿実施設計について

事務局基礎構造の検討のため地盤調査を実施したところ、現況案で十分な強度が確保されることが判明した。屋根の色調は、周辺と調和するよう黒色系とし、床面は洗出しを採用する。また、柱等の木部については保護塗料を用い、防腐等に対応する。

〔質疑・意見〕

委員木材の耐用年数はどれくらいか。

事務局保護塗料の塗り直しなど、定期的にメンテナンスを実施すれば、20年は耐える。

（２）サイン実施設計について

事務局サイン本体の素材について、天然木材と合成木材を候補に検討している。加工の自由度は天然木材の方が高いが、耐久性は合成木材の方が優れている。どちらを採用するか諮りたい。

〔質疑・意見〕

委員費用はどのように違うのか。

⇒**事務局**合成木材の方が、サインの形状にも依るが、10～40万円ほど高価である。

委員メンテナンスの負担が少ないのであれば、合成木材を用いた方が良いのではないか。初期費用はかかるが、全体的にみたらコストは低くなると考える。

委員天然木材は耐用年数が短いことから、新しいものに更新できる利点があると思う。利便性、耐久性のほか、公的補助についても考えてほしい。

⇒**事務局**前回委員会で決めた板面素材の耐久性が高いため、サインの外枠を更新しても内容を更新することは難しい。また国庫補助金も整備後のメンテナンスには対応していないので、なるべく耐久性の高い素材の方が良いと考えている。

委員耐久性の高い素材の方が、板面の素材ともマッチするのではないか。

委員サイン本体には合成木材を採用する方針で良い。

（３）注意看板の内容について

事務局注意事項について、磐田市都市公園条例に基づきつつ、火器の使用禁止、掘削の禁止など8項目について明示する形を考えている。前回委員会では、できるだけ項目を減らしたいとのことであったが、他史跡における事例や後付けの注意喚起は目立つことから、最低限は必要と考える項目を厳選した。

〔質疑・意見〕

委員球技の禁止について、どの程度を考えているのか。

⇒**事務局**細かな定義を示すことは難しいため、史跡公園であることも考慮し、球技全般を禁止にする形を検討している。

⇒**委員**サッカーや野球など本格的な球技は制限しても良いが、子どもがボールで遊ぶ程度

なら良いのではないか。

委員 スケートボードの使用禁止はちゃんと出しておく方が良い。

委員 自転車の乗り入れには制限があるのか。

⇒**事務局** 史跡北側園路については高校生などが利用しているため、禁止はせず、基壇や見学者に影響しない範囲で利用してもらう注意喚起にしようと思います。

委員 あまり細かいことまで制限せず、常識の範囲内で対応するのが良い。

(4) サイン板面のイメージについて

事務局 来年度以降検討を進める説明板に用いるフォントや背景色について、現段階で意見があれば確認したい。

〔質疑・意見〕

委員 2次元コードを用いるなら、大きな説明板は不要に感じる。

⇒**事務局** 2次元コードを読み込む手間を避け、利用しない人もいるため、基本情報については説明板に掲載する必要があると考えている。

委員 背景は白地が基本的な印象をもっている。画像が入るなら、白地の方が調整しやすいのではないか。

委員 個人的な感覚ではあるが、背景色が黒や紺の方が目に入りやすい印象を受ける。

委員 来年度から板面の具体的な検討を進めるため、その際にいくつかパターンを出してもらう方が良い。

(5) その他

委員 現在の国分寺（参慶山 国分寺）についても説明する看板を設置してもらいたい。お堂があったことで、中世以降も国分寺が守られてきた可能性もあり、是非説明で触れてほしい。

⇒**事務局** 整備事業として個別に説明板を設ける計画はないが、周辺の文化財についての説明板で触れることは可能か。また、参慶山国分寺の入口には市の説明看板があり、その内容を改修することも可能なので、そのような方向も考えていきたい。

7. 閉会